



まほろばだより

2012
Autumn
vol.02

公立大学法人 奈良県立医科大学 女性研究者支援センター

第2号



Contents

① 快適な職場づくり

株式会社クオレ・シー・キューブ 代表取締役 岡田 康子氏
によるハラスメント防止研修会を開催しました

② 医理系の研究って、すっごくおもしろい!

第1回 身近な細菌を染めてみよう!

女子高生の医理系進路選択支援のイベントを開催しました

③ 女性医師のためのカフェ JOYFUL が 実施されました

④ コミュニケーションスキルを磨こう!

第2回

『あなたの行動、言葉づかいは大丈夫ですか?』

>> Report 1

快適な職場づくり

厚生労働省「職場のいじめ・嫌がらせ問題に関する円卓会議」有識者メンバーである岡田康子氏によるハラスメント防止研修会を開催しました。

7月20日、株式会社クオレ・シー・キューブ代表取締役岡田康子氏を招いてハラスメント研修会『快適な職場づくり』を開催しました。

岡田氏は、厚生労働省「職場のいじめ・嫌がらせ問題に関する円卓会議」の有識者メンバーも務められており、講演では、どういった行為がパワーハラスメントになるのか、パワハラと指導の違い、パワハラが起こりやすい背景など企業での例を中心に、大学内でも起こり得るパワハラについてお話いただきました。

ハラスメントを受けた人だけでなく、そういった行為が職場全体・組織全体に損失を与えるため、ハラスメントの予防や解決は積極的に取り組んでいかなければならないとのこと、また、岡田氏は企業や教育機関でもトップがハラスメントをなくそうと宣言することも大きく影響を与えるとお話されていました。

忙しいと心にゆとりがなくなり、職場内の空気がギスギスしてしまうこともあります。仕事をする上で「ありがとう」や「素晴らしい」など肯定的な言葉は必ず相手に伝える必要はないのですが、「ここが間違っている」、「やり直し」など否定的な言葉は必ず伝えなくてはなりません。



岡田 康子氏



岡田氏はそういった指示や注意をする際、何を言うかではなく、どのように言うかが大切であると話され、自分の態度で相手がどう受け取るか、自分の影響力を考えて行動しなければならないと改めて自分の言動に気付かされる講演となりました。

また、講演後には30問の質問の書いた用紙が配布され、質問に答えて自分の性格を知ろうというドライバーチェック*が行われました。出席者のみなさんも、チェックリストで出た結果を周りの方々と教え合いをしたり、岡田氏も参加者の皆さんと意見交換をされていました。

終了後のアンケートには、「自分自身を振り返ることができました」「チェックリストが楽しかったです」といった声をいただき、これまでとはまた違った参加者同士の交流もあった有意義な研修会となりました。

*ドライバーチェック…子供のころ、親や周囲の人から受けていた行動を促すようなメッセージをドライバーと言い、5つのタイプで分けられる自己分析チェック



≫ Report 2 医理系の研究って、すっごくおもしろい！ 第1回 身近な細菌を染めてみよう！

女子高生の医理系進路選択支援イベントを開催しました。

8月4日、オープンキャンパスの実施に合わせて、女子高生の医理系進路選択支援として医理系の研究って、すっごくおもしろい！『第1回 身近な細菌を染めてみよう！』を開催しました。

このイベントは、女子高生みなさんに実習を通して医理系の研究を身近に感じてもらい、未来の女性研究者を目指してもらおうと企画したものです。

今回は、23名の女子高生を対象に、本学細菌学教室の水野講師の指導のもと、口の中の細菌を採ってグラム染色し、顕微鏡で観察して細菌の動きを考えるとという実習を行いました。実習用の白衣を着て、まず水野講師からグラム染色や顕微鏡の使い方について説明を受け、本学のボランティアの学生さんや教員に教わりながら実習を行いました。

顕微鏡で細菌を見始めると、熱心に顕微鏡と向き合い、自分の口の中にある細菌がどんな色や形をしているかスケッチをしました。“最近の高校生はスケッチがじょうずですね～！”と教員たちから声が上がリ、みんな笑顔で顕微鏡にかじりついていました。

また、グループごとに細菌の役割についての考察を発表し、その後は水野講師から解説も含めたミニ講義がありました。

実習の最後には、喜多センター長から参加者みなさんに「未来の女性研究者認定証」を、また今回の実習に協力して下さった学生さんには「感謝状」を贈呈しました。

実習終了後には、改築されたばかりの院内保育園「なかよし保育園」に移動して交流会も開催し、昼食をとりながら奈良医大の先輩方、先生方とお話をする機会も設けました。



ドキドキのグラム染色



口腔粘膜の細胞もスケッチ



水野講師による解説



ボランティアの学生さんのおかげで終始和やかな雰囲気でした



感謝状を受け取るボランティア学生



喜多センター長より未来の女性研究者認定証の贈呈

参加者からは、「普段できない実験でいろんな細菌が見られておもしろかった」「細菌がとても面白いものだと感じた」「先生方やボランティアの方がとても話しやすい雰囲気をつくってくださったので、緊張せずに楽しくできました」といった感想をいただきました。

今回のイベントは女性研究者支援センターとして初の試みでしたが、無事大成功に終わることが出来ました！



全員での集合写真

時間がタイトな中でボランティアの女子学生と楽しく実習。「生き物相手の学問は女性の得意分野だ！」という事を探究心旺盛な女子高生たちが再認識させてくれました。女子は理系科目が苦手、なんて誰が言ったんでしょうね？



チューター 細菌学教室 講師 水野 文子先生

第2回 女子中高生の医理系進路選択支援
『医理系の研究って、すっごくおもしろい！』イベント開催決定！

プリズム眼鏡で「脳の働き」を体験してみよう！

奈良県立医科大学 第一生理学教室 講師 和田 佳郎先生

日時：10月28日（日）10：00～12：00 場所：奈良県立医科大学 基礎医学校舎4階 小講義室

対象：女子中高生（定員20名 ※先着順）

※詳しくは奈良県立医科大学女性研究者支援センターHPをご覧ください。

<http://www.naramed-u.ac.jp/~josei/>



≫ Report 3 女性医師のためのカフェ JOYFUL が実施されました

9月29日、奈良県主催の女性医師を応援するための「カフェ JOYFUL」がなかよし保育園にて開催されました。7名の女性医師の方々にご参加いただき、当センターコーディネーターの須崎康恵先生が司会を務められ、仕事と結婚、出産、育児について意見交換が行われました。日頃仕事と家庭の両立で忙しいみなさんですが、同じような立場の方々と集まることで話も盛り上がり、また先輩ワーキングマザーの先生方からアドバイスもいただき、楽しい会となりました。また、お子様同伴でも安心して参加できるよう保育園からもご協力いただいたことで、子どもたちもとても楽しそうに遊ばまわっていました。

センターでは女性医師や女性研究者が交流できるようなイベントに今後とも積極的に取り組んでいきたいと思っております！



ハラスメントを未然に防ぐためのコミュニケーションスキルについて毎号ご紹介していきます。

第2回 『あなたの行動、言葉づかいは大丈夫ですか？』

仕事や研究室など、集団で何かをする上でコミュニケーションは非常に重要です。今回は、あなた自身の職場や研究室での態度を振り返ってみてください。

▶こんな言葉づかいはやめましょう！

- ・「おいお前！」「〇〇ちゃん」 ⇒「〇〇さん」
- ・「～しろ！」「～しとけ！」
⇒「～をしてください」「～をお願いします」
- ・「こうやれ！」 ⇒「このようにしたら？」
- ・「やり直し！」
⇒「～を××に直してください」どこを直すのかきちんと指示を行う
- ・「お前はアホや」「親の顔が見たい」
⇒こんな言葉は使わない



否定的な暴言だけでなく、相手が不快に感じるような嫌味を言ったりすることもやめましょう。また、メールの書き方にも気をつけるようにしましょう。

▶こんな行動もやめましょう！

- ・人前で大声で叱る
- ・長時間立たせて叱責する
- ・ペンや指、足でコツコツ音を立てる
必要以上に大きい音を立ててドアを閉める（イライラした態度）
- ・机に書類や本をバンと投げ出す（うんざりしている態度）
- ・話しかけられても無視をする



上記のような言葉づかいや行動はとっていませんか？または、周囲にこういった態度をとる人はいませんか？誰か一人でも、このような態度をとれば、周囲の全員に悪影響を与えます。話しかけるのが怖くなったり、怯えて本来の自分の能力が発揮できなくなったり、または自分も同じ目に遭うのを避けるために一緒になっていじめてしまう可能性も…。暴言や叱責はプラスになることは生まず、コミュニケーションが上手くとれずにいると何事も円滑に進みません。注意や指導は、単に怒りを爆発させるだけでは意味がありませんので、相手の気持ちを尊重して、良くできている所は褒め、注意すべきところは具体的にこうしたらいいのでは？とアドバイスも加えるなどして伝えるようにしましょう。忙しかったり、思い通りにいかないことがあるとイライラしてしまうこともありますが、意思疎通を円滑に行うため、自分がされたり言われたら嫌だと思わずに、日頃から思いやりをもったコミュニケーションを図るよう心がけましょう。

[編集後記]

8月4日の女子高生の医理系進路選択支援イベントは初めての取り組みで不安でしたが、無事に終わることが出来ました。当日、私たちは少しバタバタしていましたが、ボランティアの学生さんと楽しそうに実習をしている女子高生の姿を見てホッとしました。10月のイベントも楽しんでもらえるよう頑張って企画したいと思います！

[編集・発行]

奈良県立医科大学 女性研究者支援センター「まほろば」
〒634-8521 奈良県橿原市四条町840
奈良県立医科大学 基礎医学校舎5階
TEL：0744-23-8011(直通)0744-22-3051(代)内線：2525
E-mail：jshien@naramed-u.ac.jp

